## E

献納式」 作物の収穫に感謝するとともに、自らもお召し上がりにな月23日に天皇陛下がその年にとれた新穀を神々に供えて、 が選ばれ、「精米1升(1・8リ精米に島地区の都司平さん、は 祭典です。 新嘗祭は、 を天皇陛下に献納されました。 い「精米1升 (1・8リットル)」「精粟5合 (0・9リッ)地区の郡司平さん、精粟に飯笹地区の大三川博さんが、皇居の賢所参集所で行われ、千葉県代表として、 それに先立ち10月22日、 宮中三殿の近くにある神嘉殿で執り行われ 自らもお召し上がりになる 平成26年度「新嘗祭献穀



郡司平さん、照子さんご夫妻

「種まき」

力所に5~

に用いられています。

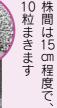
日本では米よりも早く栽培が始まっ

大三川博さん、ふく子さんご夫妻

えられるなど重要な食料作物とされてました。また、災害や飢饉に備えて蓄粥)にして主食用として食べられていかつては粟だけを炊いたり、粥(粟かつては粟だけを炊いたり、粥(粟

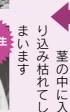
初めての粟づくりに

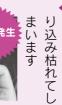
ムイン

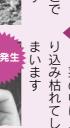




新嘗祭に















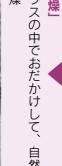
れました。

元農業委員会の会長として地域農業 発展に貢献されてきたことから選ば

り組んでいること、大三川博さんは、 米作りや米商品の開発など熱心に取 が担当となりました。郡司平さんは、

たわしのようです 穂全体が黄色化したら成熟です。















# 風が来ても倒れない ように支柱を立

時期を2回に分けて行い

・ました。

台

拝謁できたことは人生に一度の経験

良い思い出になりま

に行けたこと、天皇、

皇后両陛下に

初の粟作りは大変でしたが、

面積よりも広めに、そして種をまく

たため、

足りるとい

われている作付 ればならなか き受けました。

無農薬で作らなけ

でした。

負がありましたので、

この大役を引

る食害が発生したため、 虫が茎の中に入って実がつ

かなくな

日畑に

カ月くらいで穂が出たころ、

通って手作業で虫の駆除をしたこと

精粟を献穀した大三川博さん、ふく子さんご夫妻

う思いと農業に携わる者としての自

誰かがやらねばならないとい

失敗しないか心配しまし

たが、誰かもつかず、

どれだけ作付けす

んばい

のか見当

量に気を使いました。

一番苦労したのは、

種をま

いて2

幼

やすくなる心配があるので、 多すぎると茎が柔らかくなり、

入れる

た。粟を作ったことがなかったので、

**手口**を持ちかけられたとき、

えら まし

てて紐を両側に張って備え、

ツ、倒れ

殺された大三川さん

司さんに話をお

まし

精米を献穀した郡司平さん、照子さんご夫妻

天皇、 米を奉納する「献納 皇后両陛下にお

か仕上げることができました。 これでいいのか悩みましたがなんと ないなどいくつかのきまりがあり、 作ることで、 縫い目が見えてはい

た場所でした。 賢所はとても厳粛な空気に包まれ

りをするなど気を使いました。 はり圃場をきれ も通りに作ろうと思いましたが、 米作りについては、 お話をいただき、とても名 大変だったのは米を入れる絹袋を いに保つための草取 変に力まずい とても名誉な B つ

まったと心苦しく思っておりました 変驚きました。失礼なことをしてし とお声をかけてくださったことに大 言に救われました。 てよかったですね」と賢所の方の が、「(声をかけていただけて) することに不安になってい 調を崩し、 いできる「御会釈」 両陛下 椅子に座ったままお迎え が直接「大丈夫ですか」 の前に妻が体 たとこ かえっ

力してまいりたいと思います。 らも安心安全で美味しい米作りに努 ていただいたことに感謝し、これ このような二度とない経験をさせ か

の穀物で、

穀物で、五穀の一つに数えられていイネ科エノコログサに属する多年草

粟ってどんなもの?